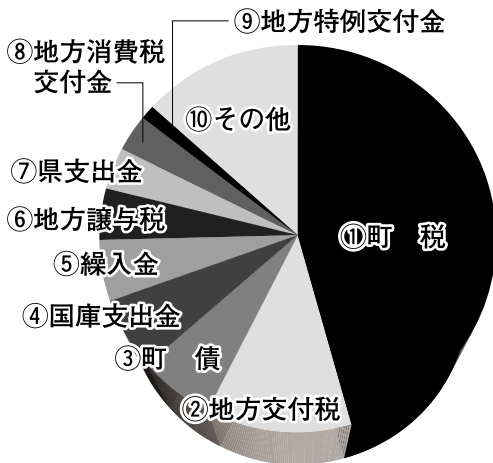


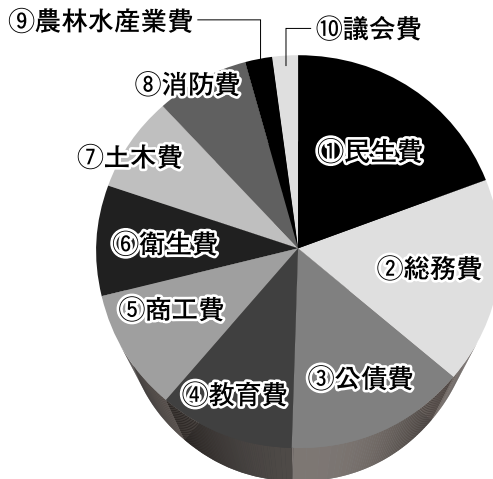
### 一般会計【歳入】



		構成比	対前年度比
歳入総額	54億3,322万2千円	100.0%	4.6%
①町税	24億8,490万1千円	45.7%	0.3%
②地方交付税	6億3,545万3千円	11.7%	△19.4%
③町債	3億3,040万円	6.1%	△1.5%
④国庫支出金	3億2,532万6千円	6.0%	△1.4%
⑤繰入金	2億7,960万5千円	5.1%	△16.3%
⑥地方譲与税	2億3,591万5千円	4.3%	52.0%
⑦県支出金	1億9,161万6千円	3.5%	2.3%
⑧地方消費税交付金	1億6,816万円	3.1%	7.3%
⑨地方特例交付金	6,615万8千円	1.2%	△19.4%
⑩その他	7億1,568万8千円	13.3%	134.8%

※注)「⑩その他」には、ちびっこ天国譲り受けに伴う千葉県からの負担金(4億958万5千円)が含まれるため、対前年度比が大きく増加しています。

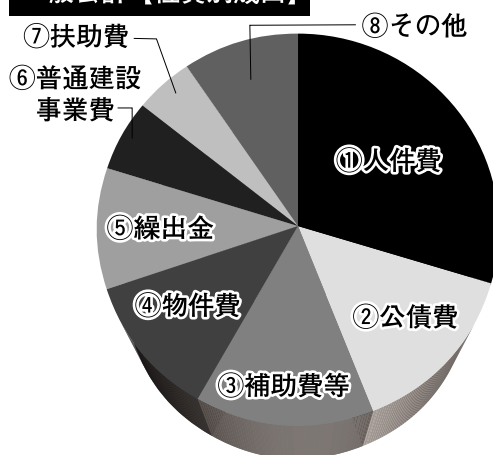
### 一般会計【目的別歳出】



		構成比	対前年度比
目的別歳出総額	53億6,832万3千円	100.0%	5.6%
①民生費	10億3,295万7千円	19.3%	6.2%
②総務費	9億667万5千円	16.9%	△4.7%
③公債費	7億6,918万6千円	14.3%	△1.4%
④教育費	5億7,421万5千円	10.7%	△7.1%
⑤商工費	5億3,175万6千円	9.9%	453.6%
⑥衛生費	4億8,842万3千円	9.1%	△12.8%
⑦土木費	4億2,446万3千円	7.9%	4.3%
⑧消防費	4億711万4千円	7.6%	△4.6%
⑨農林水産業費	1億1,971万7千円	2.2%	△22.9%
⑩議会費	1億1,381万7千円	2.1%	△1.0%

※注)「⑤商工費」には、ちびっこ天国基金創設による積立金(4億958万5千円)の増加から、対前年度比が大きく増加しています。

### 一般会計【性質別歳出】



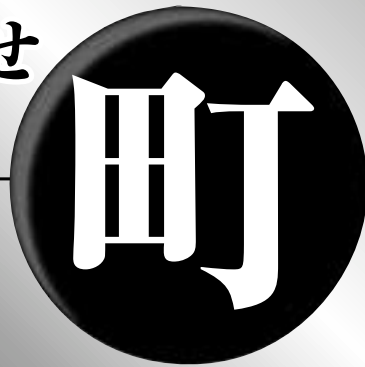
		構成比	対前年度比
性質別歳出	53億6,832万3千円	100.0%	5.6%
①人件費	15億9,309万2千円	29.7%	△4.7%
②公債費	7億6,918万6千円	14.3%	△1.4%
③補助費等	7億6,139万4千円	14.2%	△8.7%
④物件費	6億2,290万6千円	11.6%	△3.3%
⑤繰出金	5億4,013万7千円	10.0%	4.3%
⑥普通建設事業費	3億1,571万4千円	5.9%	24.3%
⑦扶助費	2億5,541万6千円	4.8%	△1.6%
⑧その他	5億1,047万8千円	9.5%	319.4%

※注)「⑧その他」には、ちびっこ天国基金創設による積立金(4億958万5千円)の増加から、対前年度比が大きく増加しています。

- ①人件費…議会議員報酬や職員の給与等です。
- ②公債費…道路や公共施設等の建設事業等に充てた町債(借金)の返済の経費です。
- ③補助費等…主に一部事務組合や各種公益または公益的団体に対する補助金等です。
- ④物件費…施設の光熱水費や予防接種の委託料等があります。

- ⑤繰出金…一般会計と特別会計または特別会計相互間で支出される経費をいいます。
- ⑥普通建設事業…道路、河川、学校等の公共施設の建設や改修工事等です。
- ⑦扶助費…生活保護の経費や高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉等の経費です。

お知らせ  
します



# 町の財政状況

(平成18年度決算)

## 特徴（一般会計）

歳入総額54億3,322万2千円の主な内訳としては、町税で、税制改正に伴う定率減税の縮減による個人町民税の増加と評価替えに伴う固定資産税の減少によるもののほか特別土地保有税の収納等から、24億8,490万1千円で対前年度比835万7千円、0.3%の増となりました。また、町税に次ぐ大きな財源となっている地方交付税は普通交付税算出において、一部測定単位（人口）の増加があったものの、市町村民税および所得譲与税が増加した影響から、6億3,545万3千円で対前年度比1億5,254万7千円、19.4%の減、さらに国庫支出金については、3億2,532万6千円で、対前年度比454万円、1.4%の減で、県支出金は、1億9,161万6千円で、対前年度比431万7千円、2.3%の増となりました。また、町債については、まちづくり交付金事業（酒々井インターチェンジアクセス道路関連事業および中川流域防災事業）の実施に伴う増加があったものの、住民税減税補てん債、臨時財政対策債の減少から、3億3,040万円で、対前年度比490万円、1.5%減となりました。

一方歳出総額53億6,832万3千円の主な内訳を目的別に見ると民生費は国民健康保険特別会計および老人保健特別会計への繰出金等の増から、10億3,295万7千円で、対前年度比6,041万7千円、6.2%の増、総務費は特別職の欠員による人件費の減等から、9億667万5千円で、対前年度比4,457万円、4.7%の減、衛生費は、清掃組合および葬祭組合負担金の減などから、4億8,842万3千円で、対前年度比7,153万4千円、12.8%の減、土木費は、下水道事業特別会計への繰出金の減はあるものの、都市計画見直し業務、酒々井インターチェンジアクセス道路関連事業および中川流域防災事業の実施に伴う増加から、4億2,446万3千円で、対前年度比1,749万2千円、4.3%の増となりました。

性質別では、人件費、公債費、物件費、補助費等の減少から、経常的経費が4.4%の減、投資的経費については、道路整備事業等の増加から、24.3%の増となりました。

問い合わせ 財政課財政班 ☎④233

## 【特別会計】

区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険	18億3,613万3千円	16億7,856万9千円
下水道事業	4億402万2千円	3億9,552万3千円
住宅新築資金等貸付事業	873万3千円	866万6千円
老人保健	9億6,500万3千円	9億9,970万7千円
学校給食センター事業	1億8,397万8千円	1億8,174万8千円
介護保険	7億6,870万4千円	7億2,107万6千円

## 【水道事業会計】

収益的収入	4億9,588万8千円 4億7,238万5千円（税抜額）	収益的支出	4億4,605万9千円 4億2,421万9千円（税抜額）
資本的収入	1,025万3千円	資本的支出	1億8,494万3千円

※（税抜）収入額と（税抜）支出額の差4,816万6千円は純利益です。  
※収入額と支出額の差額は内部留保資金等で補てんされます。